

三 次のA・Bは、二〇二三年からパレスチナで起きていることをきつけに書かれた詩です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A おうちつてなに？ ムスアブ・アブトーハー 山口 照訳

おうちつていうのはね……

それは通学路に立つ木立がつくる日陰^{ひかげ} 根つこから木をぬかれる前のこと。

それはおじいちゃんおばあちゃんの結婚式の白黒写真^{けいこしや} 壁^{かべ}が粉々にされる前のこと。

それはおじいちゃんがお祈りにつかう数物^{しきもの}、冬の夜は何十匹ものアリがその下で休んでいいたんだ 盗まれて博物館に入られる前のこと。

それはかまど、おかあさんがパンを焼き鶏肉を焼いていたんだ 爆弾^{ばくだん}が家をがれきにする前のこと。

それはカフエ、サッカーの試合を見たり遊ん——
息子が止める。 たった三文字の言葉ひとつでいま言つたこととぜんぶ受け止められるの？

B おなまえ かいて ゼイナ・アッザーム 原口昇平訳

あしに おなまえかいて、ママ
くろいゆせいの マーカいペンで
ぬれても にじまず
ねつでも とけない
インクでね

あしに おなまえかいて、ママ
ふといせんで はつきりね
ママおとくいの はなもじにして
そしたら ねるまえ
ママのじをみて おちつけるでしょ

あしに おなまえかいて、ママ
きょうだいたちの あしにもね
そしたらみんな いっしょでしょ
そしたらみんな あたしたち
ママのことだつて わかつてもらえる

あしに おなまえかいて、ママ
ママのあしにも
ママのとババの おなまえかいて
そしたらみんな あたしたち
かぞくだつたつて おもいだしてもらえる

あしに おなまえかいて、ママ

すうじはぜつたい かないで

うまれたひや じゅうしよなんて いい

あたしはばんごうになりたくない

あたし かずじやない おなまえがあるの

あしに おなまえかいて、ママ

ばくだんが うちに おちてきて

たてものがくすれて からだじゅう ほねがくだけでも

あたしたちのこと あしがしょうげんしてくれる

にげばなんて どこにもなかったつて

ガザでは、自分や子どもが殺されても身元がわかるよう、子の名前をその足に書くことにした親もいる。——二〇二三年十月二十二日 CNN報道

問一 Aの詩の「それは」で始まる部分は、それぞれ「おうち」について説明したものです。この部分の説明として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア かつての近代化される前の古臭い生活の終わりを描き、戦争後に始まるはずの近代的な生活に夢をはせている。

イ 戦争前の日常の幸福を身近な存在を通して描くと同時に、戦争によって破壊が進んでいく様子が描かれている。

ウ 敵の日常を具体的に描き、それらをひとつひとついねいに破壊していく味方の軍隊の戦い方をたたえている。

エ 亡くなった人びとの思い出をたどりつつ、それが戦争によって思い出となつていったさまをなつかしんでいる。

オ 身近だった愛する人びとや生活が、戦争によって全て失われたことをはげしいかりをこめてうつつたえている。

問二 ——線部1「息子が止める」とありますが、息子はなぜ止めたのですか。理由を答えなさい。

問三 ——線部2「ママのあしにも／ママのとババの おなまえかいて」とありますが、この時の家族の状況はどのようなのですか、答えなさい。

問四 ——線部3とありますが、どのような人が「おもいだ」のですか、答えなさい。

問五 ——線部4「あたし かずじやない おなまえがあるの」に込められている思いはどのようなのですか、答えなさい。

問六 ——線部5「あたしたちのこと あしがしょうげんしてくれる」とはどういうことですか、答えなさい。